

感染症発生状況

令和3年7月7日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和3年6月28日（月）～7月2日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】489名 【職員】8名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】97名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状別：熱（363名）、咳・鼻水（105名）、下痢・腹痛（41名）、嘔気・嘔吐（11名）

疾病別：胃腸炎（38名）、気管支炎・肺炎（4名）、溶連菌感染症（4名）、

ヘルパンギーナ（2名）

【職員】症状別：嘔気・嘔吐（3名）、頭痛（1名）

疾患別：なし

夏風邪のヘルパンギーナが流行しています。

発熱、のどの痛み、食欲不振、嚥下困難の症状に注意してください。

高熱が持続した時と食べられないときは受診してください。

【症状別の発生状況】

胃腸炎 玉山，河北，盛南，都南地域で増加しました。河南地域で減少しました。

気管支炎・肺炎 都南地域で増加しました。厨川，河北地域で減少しました。

溶連菌感染症 河南，都南地域で増加しました。

ヘルパンギーナ 厨川地域で増加しました。

【県の状況（6/21～6/27）】

感染性胃腸炎は、盛岡市と奥州地区で患者数が増加しました。ノロウイルス等の胃腸炎ウイルスは、消毒用アルコールが効きにくいいため、石けんと流水による手洗いが重要です。患者の吐物や便は、使い捨て手袋とマスクを着用し、塩素系薬剤を使用して適切に処理しましょう。

溶連菌咽頭炎は、例年より患者数は少ないですが、前週より増加しました。主な症状は、発熱、全身倦怠感、咽頭痛で、急性腎炎を併発することもあります。処方された薬を飲みきることが大切です。予防には手洗いとうがいの励行、患者との濃厚接触を避けることが重要です。

咽頭結膜熱（プール熱）は、この時期から患者が増える夏かぜの一つです。感染経路は、飛沫・接触感染で、主な症状は発熱、咽頭炎、結膜炎です。消毒用アルコールは原因となるアデノウイルスに対して効果が弱いいため、予防には石けんと流水による手洗いとうがい、タオルを共用しないことが有効です。

新型コロナウイルス感染症は、この週は34人の患者報告がありました。5月以降、繁華街の飲食店を発端とするクラスターが多く確認されています。常時マスクの着用、手洗い・手指消毒の励行、感染リスクが高まる場面の回避（三密だけでなく一密でも感染し得る）に努めましょう。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyuu/iryuu/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】